

平成24年第1回真室川町教育委員会 会 議 録

平成24年1月13日(金)午後3時00分真室川町中央公民館において、平成24年第1回真室川町教育委員会を開催した。

- 1.出席委員
- | | |
|------|--------|
| 委員 長 | 土田 稔 |
| 委員 | 遠田 且子 |
| 委員 | 沓澤 力 |
| 委員 | 佐藤 奈津紀 |
| 教育 長 | 竹田 嘉里 |
- 2.事務局出席者
- | | |
|-------------------|-------|
| 教育課長 | 佐々木 明 |
| 課長補佐(総務管理・学校教育担当) | 佐藤 久和 |
| 課長補佐(生涯学習・スポーツ担当) | 小野 喜栄 |

3.会議案件

- 日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長事務報告について
日程第3 報告
日程第4 議案第1号
平成24年度教育予算案について
日程第5 協議
(1)及位中学校の望ましい在り方について
(2)その他
日程第6 その他
日程第7 閉会

4.会議の経過

- 土田委員長 今年初めの委員会です。1月2月3月と忙しい時期に入ります。
2月には全日本スキーもあり、3月には3校の閉校式典並びに卒業式。4月には開校式・入学式となり、何かと忙しい時期に入りますが宜しくお願いします。
出席委員は5名、定足数に達しておりますので、「平成24年第1回真室川町教育委員会」を開催いたします。
本日の案件は、日程第1から7までであります。
最初に日程第1「前回会議録の承認について」を議題とします。事前に会議録が配付されておりましたが、訂正等ありませんでしたか。
同 ありません。
土田委員長 それでは、「日程第1 前回会議録の承認について」は承認されました。
引き続き「日程第2 教育長事務報告について」を議題にします。
事務局より説明をお願いします。
佐藤補佐 総務・学校教育関係について、会議資料P7により説明。(事務報告及び予定)
小野補佐 生涯学習・スポーツ関係について、会議資料P7により説明。(事務報告及び予定)
土田委員長 「日程第2 教育長事務報告について」事務局より報告がありました。

教育長から特にありませんか。

教育長
土田委員長
－ 同
土田委員長

ありません。
質問等ありませんか。
ありません。
それでは、「日程第2 教育長事務報告について」は承認されました。
続きまして「日程第3 報告」に移ります。
教育長より報告を求めます。

教育長
土田委員長
－ 同
土田委員長

学校の近況について報告。
教育長報告についてご意見等ございませんか。
ありません。

土田委員長
教育課長
土田委員長
－ 同
土田委員長

無いようですので、「日程第3 報告」を終了してよろしいですか。
中学スキ－大会等について報告。
ただいまの課長からの報告について、質問はありますか。

教育課長

ありません。
無いようですので、「日程第3 報告」を終了します。
続いて、「日程第4 平成24年度教育予算案について」を議題といたします。
先に配付した資料に基づき説明(様式1：平成24年度当初予算要求概要説明書 全10頁) 1～4頁(予算概要)・5頁(予算の推移)・6頁(前年との比較)

佐藤補佐
小野補佐
土田委員長

主要事業 7頁～(新規事業及び重点事業) 説明
主要事業 7頁～(新規事業及び重点事業) 説明
「日程第4 平成24年度教育予算案について」事務局より説明がりましたが、質問はありますか。

沓澤委員

予算要求書とは違いますが、伝承祭のときに気になった「大ホールの音響設備」について、修繕の経過とか分かれば教えていただきたいと思えますし、今後の計画とかあれば合わせて教えていただきたいと思えます。

教育課長

司会用マイクの件だと思いますが、司会用マイクだけが聞き取りにくい状態であったのは何故か。

小野補佐

スピーカーが弄られてあったようです。伝承祭当日、課長から聞き取りにくいとの指摘を受け確認したところ、そのような状況で即対応し、その後は問題なく使用できました。

教育課長

音響機器は取り換えをし、問題なく使わせていただいております。
いろいろな団体が使うことから、ツマミが微調整されたことは理由になりません。前日のリハーサルをキチンとやっていないからそうなるんです。事務局のミスです。数百万の多額な経費を投入し更新した機器ですので、使い方の問題であり、リハーサルの徹底を指導しました。

沓澤委員

わかりました。

土田委員長

そのほかありませんか。

遠田委員

「山大エリアキャンパス」と「ふるさと小又村事業」に、中学生・高校生が参加できる内容ですか。

小野補佐

山大のフィールドワークについては、小学生・中学生も参加できます。

教育課長

補足して、釜淵地区でやっている「山大エリアキャンパス」については、北部小校長も運営組織に入ってもらい、学生との交流に入ってもらえるようなシステムになっています。しかし、中高生をどうやって巻き込むかとなると、それぞれの組織(番楽や－盛会など)を通じて関わっていないと中学生が個人として、

参加できるようなプログラムにはなっておらず、中高生の参加がなかなか出来ていない状況です。

「ふるさと小又村」については、地域の方々と農作業による交流、中高生については、スポーツ交流を中心となっています。

遠田委員 わかりました。

体育施設予算説明で、施設の大幅改修の時期に来ているとの話で、テニスコートはわかるのですが、野球場を拡張してかなりのお金をかけてやるというのは、どうということなんでしょう。

教育課長 町民球場の改修計画については、かなり前からありました。

野球連盟から町長あてに要望書が提出されるなどの経過があり、平成21年度に照明だけ先んじて整備し、残っているのが外野等を拡張しないと「社会人軟式野球規格」の大きさにならないのです。その残っている拡張工事を行いたいという計画で、課としての優先順位は高くなく、過疎地域振興計画5カ年計画があるが26年度の最終年度に載せておいたものですが、町長の意向もあり早まったものです。課としては「テニスコート」を優先に要求していくことにしています。

遠田委員 作品展の時に来てみると、随分狭いなあという印象を受ける。子どもの作品展ならばわかるが、大人の作品展だったらもう少し作品が引き立つような展示の方法を検討できないものかと感じました。

図書室がかなり手狭な感じがします。係が本の置き場所を変える程度ぐらいの対応では、無理なのではないかなと思います。今回の予算には関係ないかもしれませんが、改修とかいろいろなチェックが必要な時期でしたら、そういうことも含めて全体的に事業を考えていただければいいのかなと思います。

あと、玄関を入れて公民館の玄関ホールのところも、随分前より整備して気を配っているいろいろやって下さっているのは分かるようになってきましたが、あそこに図書室がここにあるよという表示があってもいい。複数の町民の方から、「公民館に図書室などあったのか」との声がありました。あっても暗いという意見もある。図書室の利用をもう少し拡大したいという目当ても前にあったと思うが、全体をもう一回考えていただく時期でもあると思いました。

土田委員長 今、要望と意見とありましたが、皆さんから、ご質問ございませんか。

教育課長 言われる部分はすぐ取り組ませてもらいますが、手狭な部分は、すぐに取り組むには難しい状況です。公民館の部屋を使っていくのも難しい面もあり、真室川駅の2階の活用という案もあったが実現しませんでした。難しい問題だと感じています。

土田委員長 他にありませんか。

佐藤委員 小学校特別支援教育、就学援助、遠距離通学費が少なくなっているのは、額が少なくなっているのではなく、対象となる児童生徒が少なくなっていると理解していいのですか。

教育課長 そのとおりです。

佐藤委員 遠田委員からもありましたが、山大エリアキャンパスが昨年、釜淵で行われ、子ども2人と参加させていただきましたが、大学生と関わるのは生まれて初めてのことで、大学で何を勉強しているのかとか難しい話をしなくても、どんな生活しているのか、学生と身近に話が来て、何となくではあるけれど子どもたちはイメージが湧いたんです。

それが、中学生になれば自分の将来像と照らし合わせて今後の活動に役立つん

じゃないかと思うので、去年は北部小の校長先生が実行委員に入ってくれたということであれば、今年も及位中の校長先生にも実行委員に入っていて、中学生と大学生の交流という充実した機会が持てればいいなあと思いました。

土田委員長 分かりました。

そのほか何かありませんか。

遠田委員 管理番号97番に高校生ボランティア育成事業がありますが、この中で高校生だけでなく、中学生も育成していただけると書いてあったので、ありがたいと感じました。これをもう少し広げると、町民のボランティア活動も広がっていくと思う。前にも、ネットワーク化が必要なんだとありましたので、考えていただけたらと思う。

教育課長 山大エリアキャンパスへの及中生の参加という部分について、中学校に参加依頼はしてきていない。小学校と同じように中学校に参加依頼するのは可能。例年夏休みに、東北大の高橋ゼミの学生10名くらいが少年自然の家に泊まり活動をした。いずれにしても、参加協力を求めていく。

高校生ボランティアの中学生との連携については、なかなか難しい部分がある。中学校との部活との兼ね合い。町の高ボラに参加している生徒はスポーツ系の部活には入っていないため、時間などの調整が難しい。ただ、「えんにち」を行っているが、これについては高ボラも実行委員会に入っている。協力という形の中で中学生への呼びかけもしてもらっているし、町内のボランティア団体との関わりが強い。8~9団体と関わっているため、それを核にしてネットワーク化を進めたいと思っている。

遠田委員 教育委員会だけではできない内容ですね。

教育課長 男女共同参画と同じで、どこが推進窓口になるのか町の中で整理されておらず、主たる窓口がどこになるのかも明確になっていない。男女共同参画もそうであるように。

遠田委員 町長さんは、そこら辺のところ、何かお考えになってないんでしょうか。例えば、課と課の連携とか。

教育課長 課長会議の中で、いろいろな話が出されるので耳にしており、町長自身もいろいろ考えていると思いますね。

土田委員長 そういうこともあって、実現はしていませんが「町長と教育委員の懇談会」をしたいと思っています。是非実現させ、こうした話を、町長に直接、私達の生の声として届けたいと思っています。

それでは、私から3点伺います。

男女共同参画については、やはり昨年からのデータを見ると参加者も50名を割っている状況もあるし、中身的にどうなのかをアンケートを取ってやるんだということが書かれてあるが、実際どこが推進役となるのかははっきりしない部分の事業については、なかなか進まないという感じを受けています。「男女共同参画」の計画自体もまだ完全に出来ていない状況なので、頑張ってもらいたいと思っています。

武道の必修化についてですが、全国的にもかなり注目されていますが、すでに真室川については、真中は「柔道」・及中「相撲」ということで決まっているが、一つ気になるのが環境整備の部分では、及中はマワシを保有するという事で予算が上がっていますが、真中については「多目的ホール」を改修して畳を敷くのか、それともどうする(武道館を使いながらやる)のかお聞きしたい。

また、ソフト面として、指導者の問題が上げられます。真中は柔道の先生が何人かいるので心配はしていないが、及中は相撲ということで、指導マニュアルのようなものが全国的に出来ていると思うが、指導体制がどうなるのか。

歴史民俗資料館についてですが、昨年から館長を配置して館長の人脈でいるなことが企画出来ると感じている。2年目で企画展を予算化しているようだが、もう少し予算を増やし、ふさわしい内容であれば拝観した人も、払った甲斐があったと思うのではないか。

それが予算では、1万円ずつ4回の4万円では足りないんじゃないのかなと思うし、来てもらうだけじゃなくて一緒に町内のどこかへ散策・ツアーなどを実施していく方法もあるんじゃないかと思う。

「イバラトミヨ見学会」とかやってますよね、そんな感じで歴史民俗資料館主体の事業も今後の運営審議会の中で話していただければと思います。

教育課長

真中が柔道・及中が相撲。委員会の指導としては、同じ種目が出来るのであればと話した経過があるが、最終的には学校が判断したものです。

真中については、「柔道部」もあります。移行措置として1年生は柔道着を買って実施しています。多目的室に柔道場を構えておりますが、古い畳しかなく、壁面にぶつかっても大丈夫な造りにはなっていないということで、それらの整備を実施し、安全に活動できるような形に整備していきたいということです。

及中は「相撲」ということで、委員長の発言のとおり指導者の問題があります。地域の中で相撲経験者が何名かいらっしゃるので、そういった方々を派遣するなどやり方はあると思います。

それから資料館については、「ふるさと学習」ということで、地元を思い知っていただく、或いは名所旧跡をあらためてみんなで学習し合うなどの事業を計画させてもらっています。

土田委員長

予算は上げられないんですか。

小野補佐

作品の借り上げ料(賃料)です。

教育課長

町内にある物での「企画展」ということで、この予算額になっています。

土田委員長

企画展ですから、徐々に予算を上げていってもらい、入館者を増やせるように要望します。

遠田委員

蛇足になりますが、資料館に来た人とか私の周りの人から、「真室川に来たお土産」があるといいねという話を何度かされました。

資料館にある「中川木鈴さん」の版画で版の小さいのがあるんですけど、あれで「絵はがき」を作ったら入館者の記念品にもなるし、お土産にもなるし、やったらといった話がありました。

教育課長

以前、お伺いをして、予算要求しております。

ポストカードで10種類程度になりますが。

小野補佐

「中川木鈴さん」だけでなく、「真室二郎さん」とかいろいろ種類を織り交せて10種類です。(予算要求書P71)

土田委員長

著作権とかは、問題ないんですか。

教育課長

50年経過すると著作権は消滅するそうです。

家族の方々にも確認が取れてありますので問題ありません。

土田委員長

わかりました。

他に無いようですので、「日程第4 平成24年度教育予算案について」を承認することをご異議ございませんか。

- 同 ありません。
- 土田委員長 異議なしとのことですので、「平成24年度教育予算案について」は承認されました。
- 教育課長 引き続き、「日程第5」協議に入ります。
- 「(1)及位中学校の望ましい在り方について」であります。事務局より、説明がありますか。
- 土田委員長 本資料P9・P10に基づき説明。
- この間の「小学校」「中学校」での座談会の経過・参加者数などを詳細に説明。
- 保護者の考え・区長の考えを委員会として、どのようにまとめるか。
- 今後のどのように展開していくか。(時間的な制約があるが)
- 統合・存続どちらの場合でも、実施計画を作成し公表が望ましい。
- 土田委員長 課長から提案がありました。進め方について確認したいと思います。
- 今日この場で検討というのは、意見交換会を「北部小学校」と「及位中学校」のそれぞれで実施したわけですが、それぞれ皆さんがどう感じたのか出していただき、「判断材料が揃ったのか」確認し、その後の進めた方については、課長から説明あったとおりの進め方で良いのかを協議していきたいと思っております。
- 課長の説明のとおり、年度内には方向を決めることになっておりますので、皆さんからお話しいただければと思っております。
- 教育長 1/10開催の校長会での話を紹介。(教育長作成資料:P2)
- 教育課程編成上、1月末がタイムリミット。統合するならば年度内に方針を早急に決めていただきたい。閉じるとなれば地域を巻き込んだ有終の美をしていきたい。これまでの流れについての意見になると思っておりますが、見通しが出てこないことに不満を持っている。もう少し早い時期に住民に説明すべきでなかったのか。
- (及位中校長談)
- 中中連携の必要性を認識理解し、うまく対応できるよう心づもりをしている。
- (真室川中校長談)
- アンケートの実施については、異論がありました。(全体から)
- 遠田委員 保護者・地域の皆さんからは、急な話に反発もありましたが、統合の方向で理解していると感じました。
- 意見交換会での皆さんから出された意見(統合に向けて、説得できる材料)により説得できる材料は揃ったと思うので、あとは進め方の工夫をどうやっていくかだと思う。
- 判断材料にするアンケートの是非は、全戸アンケートまでしなくとも、北部小・及位中保護者までで良いのではないかと思う。
- 沓澤委員 遠田委員と同じように感じた。
- 小学校でも中学校でも大きな声も出ましたが、早く町・教育委員会としての方針を出してもらいたい。区長さん方の話の中にも、絶対反対だという意見も出てこなかったことから内心は認めていると感じましたし、平成24年度は新入生もない状況は確定しており、在校生の問題もあり、早急に進めるべきと感じています。半分以上の保護者が集まった説明会でもあるし、小中で80名程度の保護者であればアンケートもありだと思う。
- 佐藤委員 北部小の意見交換会で統合を望む声が少ないのは、おやっと思った。
- 保護者は自分たちから意見を言うというより、教育委員会から「統合する」という形を望んでいる。及位中保護者からの「在校生が傷つけないように統合して」

の 声 が と て も 印 象 深 い 。

アンケートより、教育委員会の方向性を早急にという雰囲気と思うのでアンケートは必要ないと思います。

土田委員長

そうすると佐藤委員の考えは、教育委員会が統合に向けた素案を作って方向性を出さずということではいいわけですね。

それでは、教育長の考えも伺いたいと思います。

教 育 長

教育長資料に記載された内容を説明。(教育長資料P3)

私自身は、保護者よりも地域住民へのアンケート調査を考えていた。というのは、以前に保護者だけしたら「何で地域住民にも調査しないんだ」と意見を聞き、その反省を生かす意味で、アンケートを取るなら地域全体だとの発想があった。

意見交換会の場でも出ましたが、「おらだの学校を無くすなが」という昔ながらの発想と、今回の統合は違う。「子どもが居なくなって学校は立ちゆきません」という条件の場面なので、昔ながらの発想が多く出てしまうと進め方は難しくなる。足かせ手かせになる懸念を持ちました。

それから統合の機運が高まっているなど感じています。(前の2回と違って)保護者・区長からも前向きな考え方(統合に向けての)を出しており、そのことを大事にしたい。学校現場の話を先ほどしたが、時間的な制限もあり、アンケートには、時間が掛かり過ぎると思うので必要ないと思う。

土田委員長

皆さんの意見をうかがって感じたことがあれば挙げていただきたい。

無ければ私の考えをお話しさせていただくと、佐藤委員からあったように、欠席した保護者については、いずれ教育委員会で決めてくれるのだろうという考えを持っていることが、出席者の意見からも推測できると感じました。ですから、結論から申し上げるとアンケートの実施は必要ないと考えます。時間的な制約などが問題なのではなくて、さまざまな発言の中から保護者の考えが推測できるのではないかと思います。ただ、

及位中学校の統合の時期などはわからないが、方向性は教育委員会として決めるように下駄を預けられたというように感じました。その中で、アンケートの実施となると保護者からの反発があるのではないかと思います。保護者の考えは理解できたので、アンケートは実施しないということで説明できるのではないかと思います。したがって、今後の進め方については1月中に方向性を決めて、説明会を開くなどして、2月には町長に話ができるようなスケジュールで進めたい。公には3月になってからなのだろうが、学校側が事前に準備ができるように1月末までには方向性を提示し、不都合が生じる事無いようにしなければならぬでしょう。教育長からあったように、統合するならば25年4月でない1学年だけが残されることになり、在校生における教育保障ができないでしょうということに同感です。だから急がなければならないのでアンケートについては必要ないと思いますし、今後の展開についても1の(1)及び(2)については不要と思っています。

捉えかたは違うと思いますが皆さん意見は同じようですし、アンケートは必要ないということで一致しています。

遠 田 委 員

その通りだと思います。今はもうアンケートに左右される時期ではないと思います。すでに来年度のことがこのような状況になっているし、その先についても継続してみんなが及位中学校に行くというスタイルが保障されない限りは、教育委員会として、反対意見の方がいても、説得しながら統合を進めなければならない

いと思います。

土田委員長 今の意見に対して、事務局側から何かありませんか。

教育課長 事務局側に決定権はありませんので。

土田委員長 統合することに賛成の人にも反対の人にも、説得できる理由があればいいわけですね。

教育課長 アンケートといっても地域は論外で、保護者に対しては「及位中学校」「真室川中学校」、子どもの進学について親としてどう考えているんだということ、6年生の親は確認できていますが、5年生以下の保護者は確認できていない。

教育長の資料に、1年生だけが残された場合、在校生に中学校の教育が保障ができるか、その後「入学する・入学しない」の確認はしていないわけで、例えば1クラスずつ間に合うぐらい入学すれば保護者の気持ちを潰して、及位中を廃止して統合していく教育委員会の方針になるわけですね。

これが、1人2人しか入学希望がなくてというのであれば、統合という判断をしてもとなりますが。

行政の仕事として、公平性・公の意見を聴くという部分が欠けてしまっているのだろうか。結果として統合に向かうことになるかもしれないが。

北部小の意見交換会の時は、及位中PTA会長が来て開口一番発言があり、それ以外の保護者の積極論というのはあまりなく、「及位中の部活を考えてくれ」とか「統合を考える時期はまだ早い」「本心から統合したいという人は何人いるか」といった話も出た。

そんなに慎重にならず流れでという考えもありますが、公平に意見を聞くということであれば、及位中存続に付ける少数の意見があれば、存続という判断に立たなければいけないし、それが1人や2人・3人といった形では、中学校として成り立たないことから教育委員会として統合の判断に踏み切ったとして、思い切った判断に立てるのではないか。

例えば、1月中にアンケートの取りまとめをしながら・・・多分ですが、及位中学校へ入学という保護者は少ないと思いますが、結果ではなく、やることに意義がある。

「教育委員会が方針を出し、地域でそれぞれ意見交換・説明会をして、合意を得ていくことは、最低必要なことでしょう。

事務局の取り越し苦労の部分もありますが。

土田委員長 今までの小学校統合の経過(及位地区・安楽城地区)では、アンケートが先行していたのですか。

教育課長 そうです。

土田委員長 アンケートが先行していて、データをかざしながらいろいろと議論してやってきたということで、今回の件で、教育委員会として、これぐらいのことは予測できなかったのかと言われればそれまでですが。

急遽、そういう話になってきたということですが。

課長が言われたように、公平公正となれば、アンケートは必然で、取らないことは悩ましいところですが。

それでは、アンケートを実施してその後の判断材料とするのか、意見交換会を踏まえての判断でよいとするのかを裁決を取って、その後に進むことによるのでしょうか。

- 同 異議なし。

- 土田委員長 異論がないようですので、これまでの座談会の経過とヒアリングした内容を踏まえて判断するという方は挙手をお願いします。
- 同 全員が挙手
- 土田委員長 分かりました。これまでの経過による判断で、次に進みたいと思います。今回アンケートは実施しないということで、今後の進め方についてなのですが、計画素案について説明していくわけですが、いまさら存続ではないので、統合計画素案という形で、進めていくという共通理解でよろしいですか。
- 教育課長 アンケートを省いていくということであれば、すぐ実施計画を持って入っていたほうが手取り早い話でしょう。
- 土田委員長 すぐ実施計画ではなく、計画素案という形で持っていけないと拙いのではないですか。
- 教育課長 ですから、そこをきちんと議論してほしいわけです。あくまでたたき台としての捉え方をしていただいて。
- 土田委員長 資料に基づき、基本計画を持っていくのか、実施計画素案を持って進めていくのか、いずれにしても地域からの同意が得られてからとなりますから。安楽城地区の場合は、基本計画を出してから実施計画を出しました。時間的な制約もありますが、説明会には何を資料として持っていくのか。
- 沓澤委員 町長の承認ですが、教育委員会で統合という方針で行きますよという話をすぐにしておかなくてよろしいのですか。
- 土田委員長 今日の結果は、すぐに町長へ報告になると思いますが如何ですか。
- 教育課長 そのとおりです。町長には事前に話をしており、今日の結果も即報告します。
- 土田委員長 説明会には、基本計画ではなく、実施計画素案で説明にあたった方が、2段階踏むより、1回でやったほうがよろしいということですから。
- 沓澤委員 町長との、その部分だけ確認したかっただけです。
- 遠田委員 実施計画となるとタイムテーブルが入り、どういう学校にしていくかということまで踏み込んだ整備計画でないか。
- 教育課長 統合方式が「吸収」か「対等」で教育方針が変わってくる。吸収合併であれば、真室川中学校の教育方針そのままでもよいが、対等合併となれば違ってくる。
- 土田委員長 細かい部分は置いておいて、方向性を決めて説明会に行くのか、今出たように対等なのか吸収なのか整備計画はこうなんですといった部分まで詰めるか。
- 教育課長 地域に入ったらポイントは、「統合方式」「通学方法」「部活後のバス」など、そういった部分だと思います。
- 土田委員長 予算的な裏付けがなければ、「スクールバス」の話とか、はっきりとは言えないですね。
- 沓澤委員 地域の方々には、実施計画というものをドーンと出す前に、統合ということで委員会として意見がまとまったという報告が必要ではないですか。
- 土田委員長 はい。－理ありますね。方向性を決めましたという報告会。その後実施計画を持った説明が必要だということですね。今の意見はどうですか。
- 遠田委員 地域の方々の意見を丁寧に扱うのも配慮だと思ったのですが、説明会に参加された方々から、具体的にどうやっていくのか意見が出てくると思う。

とにかく子どもたちのために、統合に賛成してほしいという説得の一段階はあった方がよいと思うのですが。

沓澤委員 ただ、その場合でも、そういった質問があった場合に予定としてはという大まかな答えを持っていた方がいいと思うし、統合だけの了解だけではちょっと。

遠田委員 出来上がりました、これでやりますよといった物でなくて、ですね。

沓澤委員 遠田委員から出されたようなことが質問として出ると思いますから。

土田委員長 「統合方式」や「通学方法」などについて、基本方針や実施計画の中で、どこまで詰めるかですが。

教育課長 素案作成についても、具体的な基本計画案の策定とし、フレーム（学校方針・通学方法・寄宿舎の要望）をきっちりと出すことが求められると思います。

土田委員長 統合計画・基本計画の骨子にフレームを出し、進めていってよろしいですか。吸収統合としてよろしいですか。

最短で地域のほうに説明に行くのはいつ頃になりますか。

その前に、配慮すべき事項について伺います。

遠田委員 吸収合併され無になるという意識ではなく、今の及位中学校の良さを経営に取り入れる配慮がなされるよう期待する。

土田委員長 基本計画の素案を作成する時間は、どれぐらい必要ですか。

教育課長 いつ頃地域に入るか、どこで開催するか、地域の方を含めてか。

土田委員長 日程調整に時間を掛ける。

日程等は次のとおり。

1月27日（金）及位中学校で19時から説明会・意見交換会を開催

題名「及位中学校の在り方に関する説明会」

土田委員長 日程第5の協議「及位中学校の在り方について」は以上にしたいと思います。

日程第5の「その他」について。

教育課長 事務局からはありません。

佐藤委員 こども園入所にかかわる申請関係について質問あり。

教育課長 福祉課に問い合わせし、後日回答。

土田委員長 日程第6「その他」について。

教育課長 事務局からはありません。

佐藤委員 釜淵区へ抜ける橋の下部に蜂の巣があると保護者から連絡があった。

佐藤補佐 町建設課を通し、道路管理者に連絡し確認。

土田委員長 日程第7「閉会」

次回の教育員会は2月16日（木）9時開会とし、本日の委員会を終了いたします。